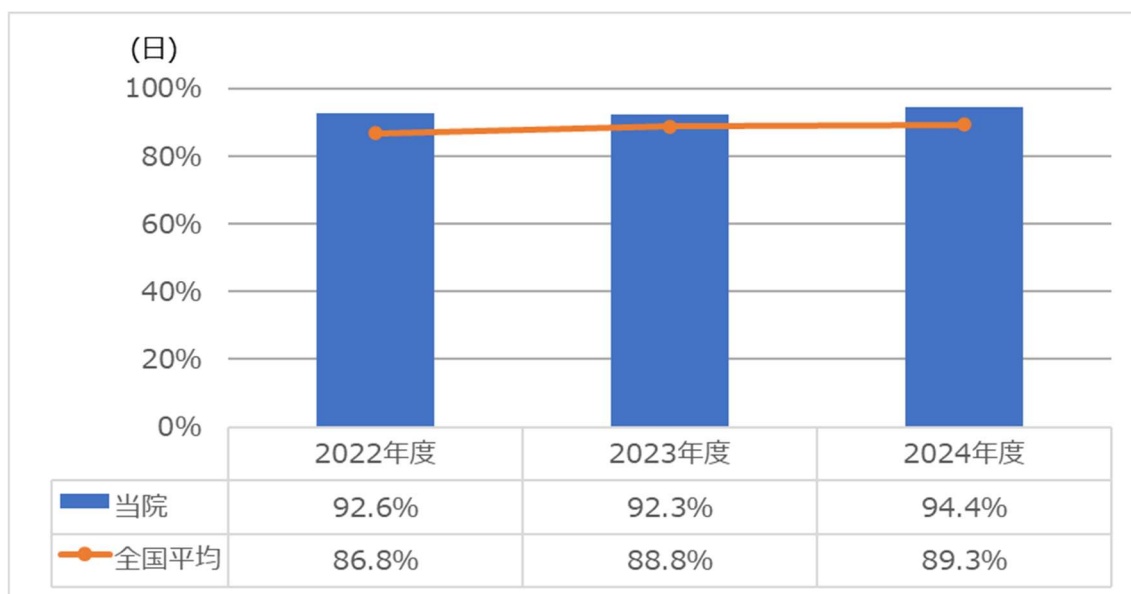


指標2 脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合



<定義>

分子	分母のうち、入院後早期(3日以内)にリハビリテーション治療を受けた症例
分母	18歳以上の脳梗塞の診断で入院した症例
期間	2022年度～2024年度(1年毎に集計)
対象	上記期間の退院患者

<解説>

当院の脳梗塞診療は、手術を中心とした高度急性期・急性期の治療を主に実施しています。当院の医療資源を有効に活用するためには、手術後なるべく早くリハビリテーションを開始し、自宅(かかりつけ医)への早期退院、回復期リハビリテーション施設への早期転院を目指す必要があります。

※ 本データは厚生労働省提出用のDPCデータを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院 QIP 事業】」における「医療の質の指標」の計測結果(事業に参加する全国の病院の平均値)を用いています。

【参考 URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>(当院の QIP 参加について)

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/acts.html> (QIP における計測結果)